


保護者向け情報シート

DECEMBER 2020

NSW州保健省では、4つのタイプの髄膜炎菌感染症に対する予防接種（一回の注射で接種）を学校集団接種プログラムで提供しています。これを受けるには保護者の署名入り同意書を提出しなければなりません。

次のステップ

- この情報シートを注意してお読みください。
- お子さんにACWY型髄膜炎菌感染症の予防接種を受けさせたい場合には、予防接種同意書の  のシンボルがあるところに必要事項をご記入の上、お子さんに渡して学校にご返却ください。
- お子さんにACWY型髄膜炎菌感染症の予防接種を受けさせたくない場合には、同意書の記入も返却もしないでください。

Q. 髄膜炎菌感染症とはどんな病気ですか

髄膜炎菌感染症とはまれながら、髄膜炎(脳や脊髄の膜の炎症)や敗血症(血液中毒)の原因となることが多い重度の感染症です。髄膜炎菌感染症は非特異的の症状を示すことがあり、これには急な発熱や頭痛、首の硬直、関節の痛み、赤紫色の発疹やあざ、明るい光に対する嫌悪感、吐き気、嘔吐などが含まれます。髄膜炎菌感染者の最高10パーセントは抗生物質で適切な治療を受けても死亡し、生存者も長期の後遺症が残る場合があります。

Q. 髄膜炎菌感染症はどんな経路で感染しますか

髄膜炎菌は鼻や喉の奥にある唾液を通して人と人の中で感染します。通常は健康な保菌者と長時間密接に接触すると感染します。この長時間の密接な接触とは例えば、同じ家庭での生活やディープキスを指します。髄膜炎菌は人から人へは簡単には感染せず、体外ではあまり長く生存できません。

Q. ワクチンはどのように作用しますか

ワクチンには免疫系を刺激して一定の病原体を退治させる効果があります。予防接種を受けた人がこの病原体に接触すると、その人の免疫系はより効果的に対応できるため、病気を予防したり、症状を大幅に軽減したりします。

Q. ACWY型髄膜炎菌ワクチンはどれほど効果がありますか

ACWY結合型髄膜炎菌ワクチンの接種を一回受ければ、この4タイプの髄膜炎菌感染症の予防にたいへん効果的です。ただしこのワクチンはB型髄膜炎菌を原因とする髄膜炎菌感染症の予防にはなりません。

Q. 誰がこのプログラムでワクチン接種を受けるべきですか

A、C、W、Y血清型髄膜炎菌の感染を予防するワクチンの接種は、中等学校の10年生と集中英語センターに通う15歳から19歳の全生徒が受けるべきです。

Q. このワクチン接種を受けるべきでないのは誰ですか

ACWY型髄膜炎菌ワクチンは次のいずれかに反応してアナフィラキシーを起こした人には投与しないでください。

- 以前接種を受けた髄膜炎菌ワクチン
- いずれかのワクチン成分(裏面に記載)

ジフテリアトキソイドに過敏な人はACWY型髄膜炎菌ワクチンの接種を受けてはいけません。

Q. アナフィラキシーとは何ですか

アナフィラキシーとは重度のアレルギー反応で、素早く対処しなければ意識を失ったり、死に至る場合もあります。

予防接種後に生じることは非常にまれです。学校集団接種の担当看護師はアナフィラキシーの対処について万全の訓練を受けています。

Q. 子供はACWY型髄膜炎菌ワクチンの接種をすでに受けていると思いますが

12カ月のお子さんを対象とするACWY型髄膜炎菌ワクチンは2018年7月から全国予防接種プログラムに含まれています。お子さんが以前に受けたのはC型髄膜炎菌ワクチンだった可能性があります。これが予防するのはC型髄膜炎菌感染症だけです。特定の疾患(脾臓摘出や免疫不全)をもつ生徒の中には、これまでにこのワクチン投与を受けた人が少数いるかもしれません。この場合にはお子さんに追加接種が必要かどうか、かかりつけ医か専門医に相談してください。

Q. 子供はすでにC型髄膜炎菌ワクチンを受けていますが、ACWY型髄膜炎菌ワクチンを受けても大丈夫ですか
 大半のお子さんは乳児期にC型髄膜炎菌ワクチンを受けています。一部の国では思春期の追加接種を推奨しており、今回のACWY型髄膜炎菌ワクチンはC型髄膜炎菌に対する追加接種になるだけでなく、A、W、Y型髄膜炎菌感染症の予防にもなります。お子さんによっては2015年から2018年に実施された予防接種キャッチアッププログラム (No Jab, No Pay) の一環としてC型ワクチンを受けているかもしれません。現在のACWY型髄膜炎菌ワクチンの接種は安全です。すべてのタイプの髄膜炎菌からお子さんを最大限に守るためには、接種の間隔を最低4週間あけるようにしましょう。

Q. ほかにどんな理由でこのワクチンが必要とされますか
 このワクチンはメッカ巡礼など髄膜炎菌に感染する可能性の高い旅行や出張を計画されている方にも推奨されています。また微生物研究所の従業員などの一定の職業についている人や、脾臓摘出手術を受けた人など特定の疾患をもつ人にも接種が推奨されています。

Q. ACWY型髄膜炎菌ワクチンにはどんな添加物が入っていますか

このワクチンにはトロメタモール、スクロース、塩化ナトリウムが入っている可能性があります。添加物がほんの微量含まれているのは、ワクチンの作用促進や保存剤としての効果があるためです。

Q. ワクチンはどれほど安全ですか

オーストラリアで使われているワクチンは安全で、医薬品管理局 (TGA) から使用許可を受ける前に安全性に関する厳しい検査に通らなければなりません。これに加え、使用開始後もTGAがワクチンの安全性の監視を行っています。

Q. ACWY型髄膜炎菌ワクチンの予防接種にはどんな副作用がありますか

副作用は通常軽度で、発熱、頭痛、めまいや、注射をしたところが赤くなったり、痛んだり腫れたりすることがあります。注射をしたところのこうした症状は普通、2〜3日でなくなります。重度の副作用は非常にまれです。副作用についてのさらに詳しい情報は、このワクチンに関する消費者向け医薬品情報 (CMI) を www.health.nsw.gov.au/schoolvaccination でご覧ください。予防接種を受けた後のお子さんの副作用について心配な方は、かかりつけ医に相談し、最寄りの公衆衛生課 (Public Health Unit) にも報告してもらってください。

Q. 妊娠している、あるいは妊娠しているかもしれないと思う女生徒がこのワクチンの接種を受けてもいいですか
 いいえ。妊娠している、または妊娠しているかもしれないと思う女生徒は、このワクチンを受けるべきではありません。集団予防接種日には、妊娠している、あるいは妊娠している可能性があるかどうかについて、予防接種を行う看護師が女生徒に尋ねます。お嬢さんがこの質問にはいと答えた場合には、お嬢さんには接種は行われません。お嬢さんはこの問題について保護者と直ちに話

し合い、医者に行くよう強く勧められます。またアドバイスとサポート、ガイダンスが受けられ、他の医療従事者への紹介も受けられる保健相談サービスの連絡先もお嬢さんにお知らせします。

Q. 子供がぜんそく持ちで、「パファー」でコーチゾンやブレドニゾンを服用している場合はどうすればいいですか
 ACWY型髄膜炎菌ワクチンは、服用中の薬にかかわらず、ぜんそくの方に投与しても安全です。

Q. 予防接種の同意は誰がで、この同意は撤回できますか

18歳未満の生徒の予防接種に同意できるのは保護者か後見人だけです。18歳以上の生徒は自分で予防接種に同意できますので、同意書に必要事項を記入の上、保護者/後見人欄に自分で署名してください。同意の撤回は書面で学校に知らせるか、電話で学校に伝えればいつでもできます。

Q. 看護師訪問時に病気や欠席で子供がワクチンの接種を受けられなかった場合にはどうすればいいですか
 今学年の間に今後実施される集団接種でお子さんが予防接種を受けられるように最善を尽くしますが、これが不可能な場合には、キャッチアップ接種の手配についてお知らせします。

Q. 予防接種の記録はもらえますか

予防接種の記録は紙面のカードか同意書に記載した携帯電話番号にSMSメッセージとして送られます。予防接種記録を受け取っていない場合には、お子さんが予防接種を受けたのだらうと思うべきではありません。予防接種を受けたことは、次にかかりつけ医のところに行った時に伝えてください。

Q. 子供の情報はどうなりますか

予防接種同意書に記入された情報は、NSW州法と連邦法の定める厳しい守秘義務とプライバシー保護の対象となります (添付のプライバシーステートメント参照)。この情報はお子さんの既存の予防接種歴と結びつけるためにNSW保健省予防接種登録簿に入力され、オーストラリア予防接種登録簿 (AIR) にもアップロードされます。同情報はMyGovでご覧いただけます。

Q. 予防接種についてもっと詳しい情報を知りたい場合には、どこに問い合わせればいいですか

詳しい情報は次の方法で入手できます。

- 1300 066 055 に電話をして最寄りの公衆衛生課に問い合わせるか、NSW州保健省のウェブサイト www.health.nsw.gov.au/meningococcalW をご覧ください。
- 全国予防接種研究調査監督センターのウェブサイト www.ncirs.org.au をご覧ください。
- <https://immunisationhandbook.health.gov.au> のオーストラリア予防接種ハンドブックをご覧ください。
- 医薬品管理局 (TGA) のウェブサイト www.tga.gov.au をご覧ください。
- オーストラリア予防接種登録簿 (AIR): www.humanservices.gov.au/individuals/services/medicare/australian-immunisation-register

ACWY 型髄膜炎菌ワクチン予防接種同意書

Consent for Meningococcal ACWY Vaccination

保護者をご記入ください。黒か青のペンを使って**大文字**でご記入ください。

1. 生徒の詳細

氏

名

生年月日

 / /

性別

 男 女

学年

学校名

メディケア番号

メディケアカードのお子さんの
名前の横にある番号

2. 先住民かどうかについて

いいえ。 はい、アボリジニです。 はい、トレス海峡諸島民です。 はい、アボリジニであり、トレス海峡諸島民でもあります。

3. 保護者 (親または未成年後見人) の詳細

ACWY 型髄膜炎菌ワクチンの利点と生じる可能性のある副作用についてまとめられた情報を読み、この内容を理解しました。

ここに上記の私の子供が ACWY 型髄膜炎菌ワクチンの接種を一回受けることに同意します。

私の知る限り、私の子供が次の通りであることに相違ありません:

- どのワクチンに対しても、アナフィラキシー反応を起こしたことがない。
- 同封の「保護者向け情報シート」に記載されているどのワクチン成分に対しても、アナフィラキシー反応を起こしやすい過敏体質ではない。
- 妊娠していない。

保護者名 (例: JOHN SMITH)

住所 (例: 5 SMITH LANE)

サバブ名

郵便番号

携帯電話番号

代わりの電話番号 (局番も記入。例: 02)

保護者署名

日付

 保護者をご記入ください。

生徒名 (例: JANE SMITH)

事務局記入欄

腕 左 右 ワクチン投与時刻 (24 時間表記) ワクチンバッチ番号


看護師署名 日付

/

看護師記入欄

予防接種を行わなかった理由

- 欠席
- 拒否
- 体の調子がすぐれない
- 署名なし
- 同意撤回
- その他

 保護者をご記入ください。

生徒名 (例: JANE SMITH)

事務局記入欄

腕 左 右 ワクチン投与時刻 (24 時間表記) ワクチンバッチ番号

看護師署名 日付

/

予防接種後にすべきこと

- 後日、この情報の提供を求められる場合がありますので、この予防接種記録は保管しておいてください。
- 医師がお子さんの予防接種についての最新情報を把握しておけるように、お子さんのかかりつけ医に予防接種日を報告してください。

副作用が発生した場合の対応

- 予防接種を受けた場所に湿らせた冷たい布をあてて、痛みを緩和する。
- 痛み止めにパラセタモールを飲む。
- 水分を多くとる。

お子さんに副作用が出て心配な場合には、かかりつけ医に連絡してください。

プライバシー ステートメント

私どもの義務

私どもは皆さんの個人情報をプライバシーに基づいて取り扱うことをお約束しています。

このステートメントには皆さんとお子さんについての情報収集の方法と理由、皆さんがどのようにご自分の情報にアクセスできるのか、また皆さんの情報がどのようにNSW州保健省内で使用されたり、他者に開示されたりすることがあるかが説明されています。個人情報とは皆さんとお子さんの個人の詳細と、お子さんの予防接種に関する個人の保健情報を指します。

情報の収集

個人情報はお子さんが適切な予防接種を受けられるようにするために収集されます。

お子さんの予防接種に関連する必要な情報で、予防接種サービスの管理に必要な情報だけが収集されます。

情報は可能な限り皆さんやお子さんから直接集めますが、お子さんの学校や、お子さんの治療にあたった医療従事者から情報を集める必要がある場合もあります。緊急事態においては、私どもがお子さんに最良のケアを提供できるように、ご家族の方や友人、介護者、その他の方から情報を集める必要があることもあります。

収集した情報の安全な保管

個人情報の保管にはいくつか方法がありますが、多くの場合は、紙文書の医療記録と/あるいはコンピュータ化された安全なデータベースの一部をなす電子文書の医療記録として保持されます。いずれのフォーマットの個人情報でも、損失や許可のないアクセス、悪用から皆さんの情報を守るために私どもは個人情報の安全な保管に関する厳しい規則と方針に従っています。

使用と開示

皆さんやお子さんの個人情報は、適切なケアと治療が提供できるようにNSW州保健省が使用したり、保健省以外の組織に開示されたりすることがあります。例えば皆さんやお子さんのかかりつけ医や、治療を受けている別の診療所や病院、NSW州救急医療サービス、紹介先の専門医などに開示されたり、臨床検査に使われたりすることがあります。また予算作成や計画の立案、安全と質の向上に向けた業務活動などをはじめ、NSW州保健省の業務や患者の治療に関する目的で個人情報が使用されたり開示されたりすることもあります。

報告義務のある感染症についての法律遵守と、メディケア情報や予防接種の統計提供を目的に州と連邦の政府機関に個人情報を開示することは義務付けられています。

プライバシーステートメント

顧客満足度調査やワクチンの安全性をモニターする目的でも個人情報を利用して皆さんにご連絡を差し上げることがありますが、これらへの参加は任意で、参加しないことによって皆さんが受ける医療や保健サービスに影響が及ぶことはありません。

ご自分の情報へのアクセス

皆さんには、私どもが保持するご自分やお子さんの個人情報へのアクセスを求める権利があります。ご自分の個人情報や医療記録のコピーをお求めの場合には、有料となる場合もあります。

詳しい情報とご連絡は

ご自分の個人情報がどのように管理されているかについてより詳しい情報をお求めの方はwww.health.nsw.gov.au/patients/privacyのNSW Health Privacy Manual for Health Information (NSW保健省保健情報についてのプライバシーマニュアル)をご覧ください。

ご自分の個人情報のプライバシーについてお問い合わせや苦情がおありの方は、電話**1300 066 055**で最寄りの公衆衛生課にご連絡ください。